

2020年9月期決算 会社説明会

2020年12月7日

山口フィナンシャルグループ



目次

2020年度中間決算について

- 1) 2020年度中間決算概要(連結)	4
- 経常利益増減要因(連結)	5
- 中間決算概要(銀行単体)	6
- 2) 貸出金残高	7
- 3) 貸出金利回り／利息	8
- 4) 与信費用／不良債権	9
- 5) 役務関連収益	10
- 6) 有価証券	11
- 7) 自己資本比率(連結・銀行単体)	12
- 8) 2020年度通期業績予想(連結・銀行単体)	13
- 経常利益増減要因(連結)	14

中期経営計画の進捗

- 新型コロナウイルスへの対応について	16
- 中期経営計画のビジネスモデル	17
- 事業効率化	19
- イノベーション／データ・DX／マーケティング／投資	20
- 金融モデルの“SHINKA”	25
- 法人事業戦略	26
- リテール事業戦略	29
- チャネル	31
- 地域共創モデルの確立	32
- 配当／政策投資株式	41

参考資料

2020年度中間決算概要

1) 2020年度中間決算概要(連結)

(億円)	2019年度	2020年度	前期比
	中間期	中間期	
コア業務粗利益	455	511	+56
資金利益	418	434	+16
うち預貸金利益	355	339	▲ 16
うち有価証券利息配当金	83	117	+33
役務取引等利益	64	69	+4
経費(△) (臨時処理分除く)	350	336	▲ 13
コア業務純益	105	174	+69
経常利益	184	129	▲ 54
親会社株主に帰属する当期純利益	128	84	▲ 43
与信関係費用(△)	62	72	+9
経費(△) (臨時処理分含む)	349	337	▲ 11
有価証券関連収益	214	136	▲ 78

決算概要

» 親会社株主に帰属する当期純利益は、84億円となり、前年同期比▲43億円

» 主な変動要因

・ 有価証券関連収益の減少 (▲78億円)

(内訳)

・ 利息配当金 (+33億円)

 うち投信解約益 (+43億円)

・ 売買損益等 (▲111億円)

・ 与信関係費用(△)の増加 (+9億円)

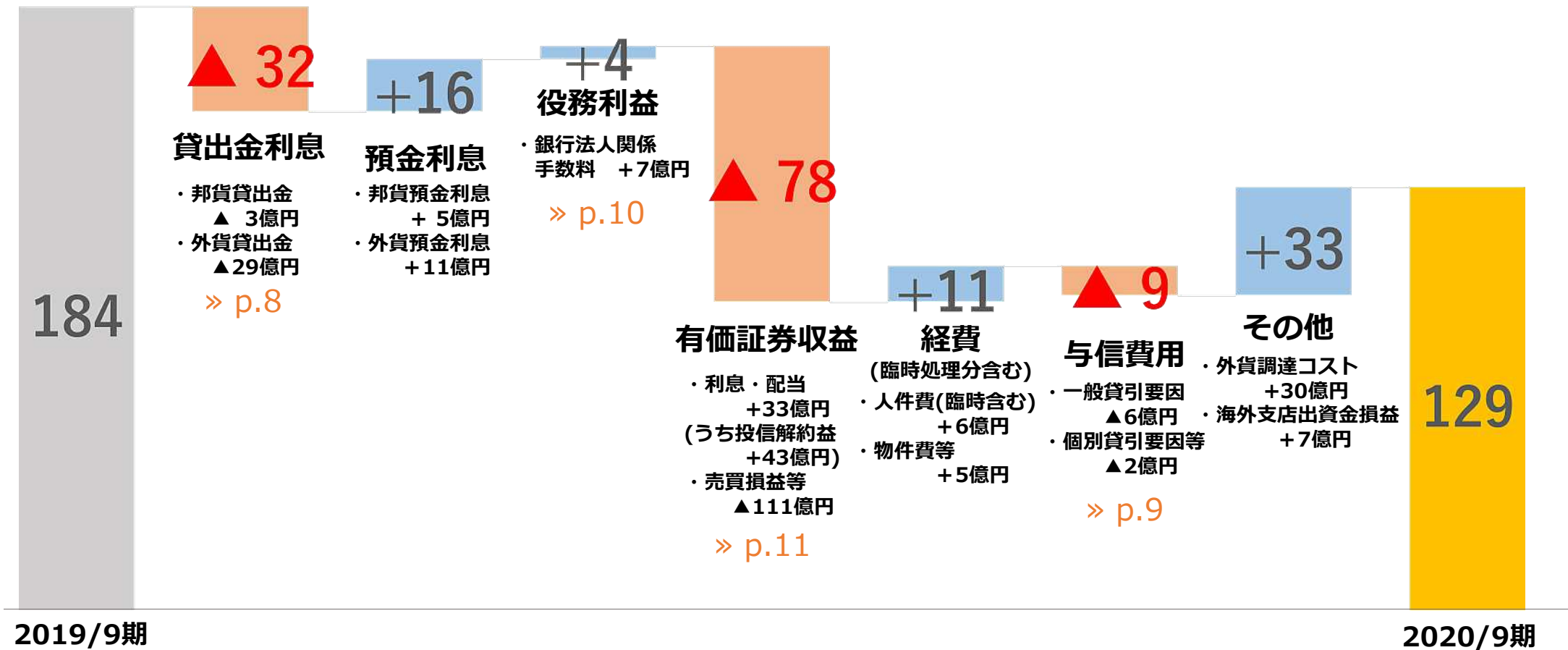
連単差

3行合算中間純利益	129億円
のれん償却費	▲1億円
FG連結調整等	▲44億円
YMFG連結中間純利益	84億円

2020年度中間決算 経常利益増減要因(連結)

» 貸出金、役務、有価証券、与信費用については各ページに詳細記載

(単位:億円)



2020年度中間決算概要(銀行単体)

» 3行ともコア業務純益は増加したが、有価証券関連収益の減少を主因に中間純利益129億円（前期比▲37億円）

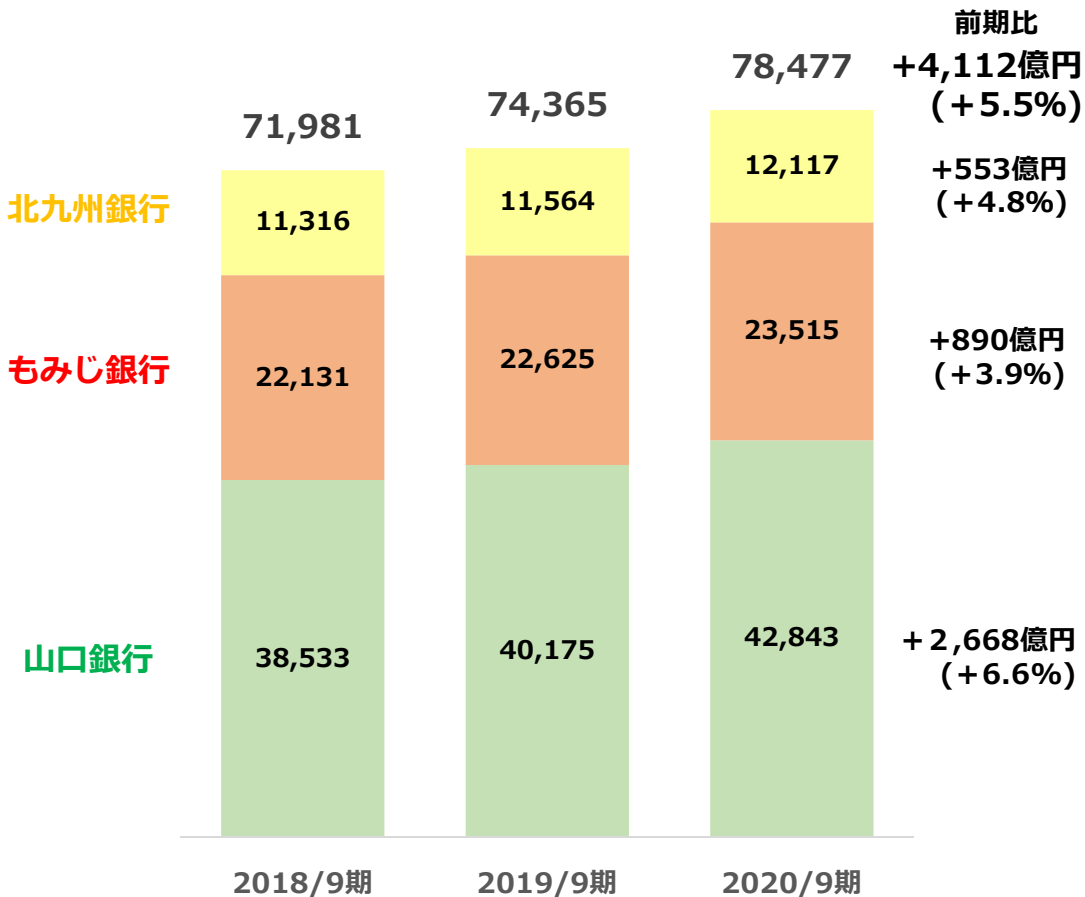
(億円)	3行合算		山口 銀行		もみじ 銀行		北九州 銀行	
		前期比		前期比		前期比		前期比
コア業務粗利益	474	+60	272	+49	142	+9	59	+1
資金利益	437	+13	249	+8	132	+5	55	▲ 0
うち預貸金利益	341	▲ 15	178	▲ 13	110	▲ 1	52	▲ 1
うち有価証券利息配当金	116	+33	90	+29	23	+4	2	▲ 0
役務取引等利益	39	+4	27	+3	10	+1	1	+0
経費(△) (臨時処理分除く)	260	▲ 14	130	▲ 8	93	▲ 4	36	▲ 1
コア業務純益	213	+74	141	+58	48	+13	22	+2
経常利益	167	▲ 53	112	▲ 55	35	▲ 0	19	+2
当期純利益	129	▲ 37	84	▲ 38	29	▲ 0	15	+1
与信関係費用(△)	70	+10	25	▲ 4	33	+6	11	+7
経費(△) (臨時処理分含む)	261	▲ 12	132	▲ 5	91	▲ 5	37	▲ 0
有価証券関連収益	132	▲ 82	81	▲ 83	40	▲ 5	10	+7

2) 貸出金残高

- » 貸出金平残は3行すべてで増加し、前期比+4,112億円 (+5.5%)、うち邦貨貸出金で+3,625億円 (+5.1%)
- » 事業体別では大企業の伸びが大きく、前期比+2,385億円 (+13.8%)

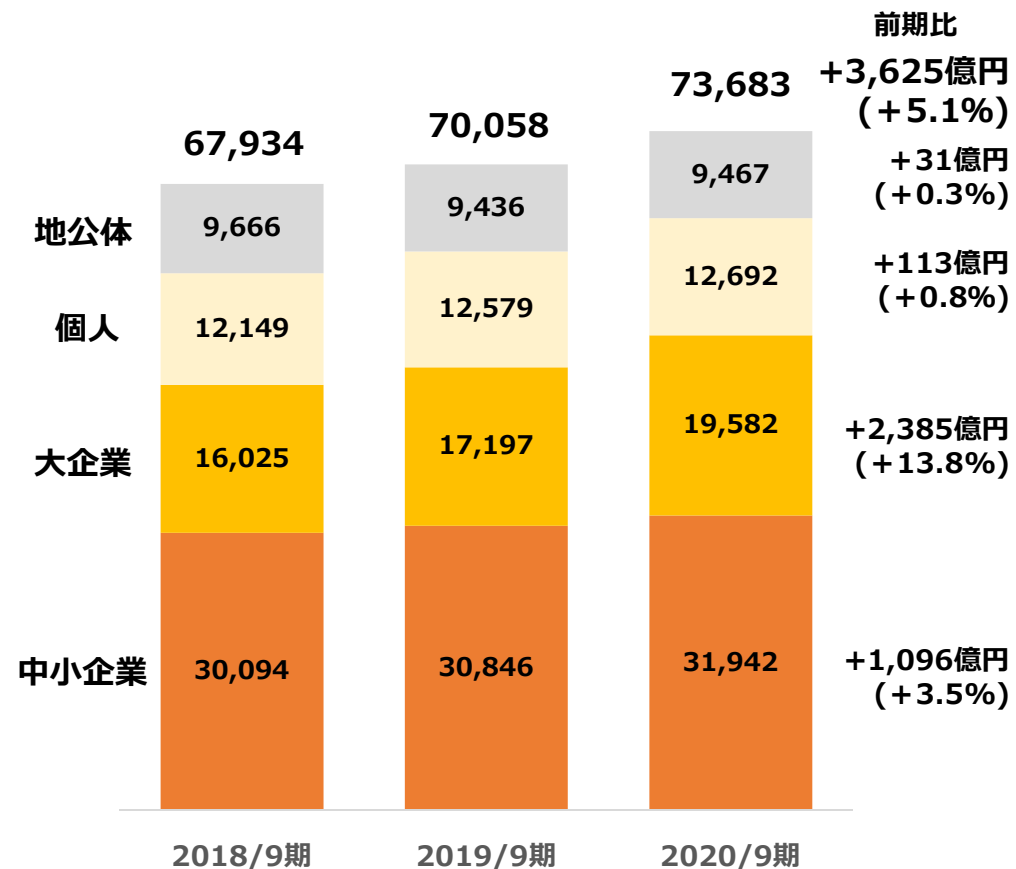
貸出金平残 (銀行別)

(単位:億円)



邦貨貸出金平残 (事業体別)

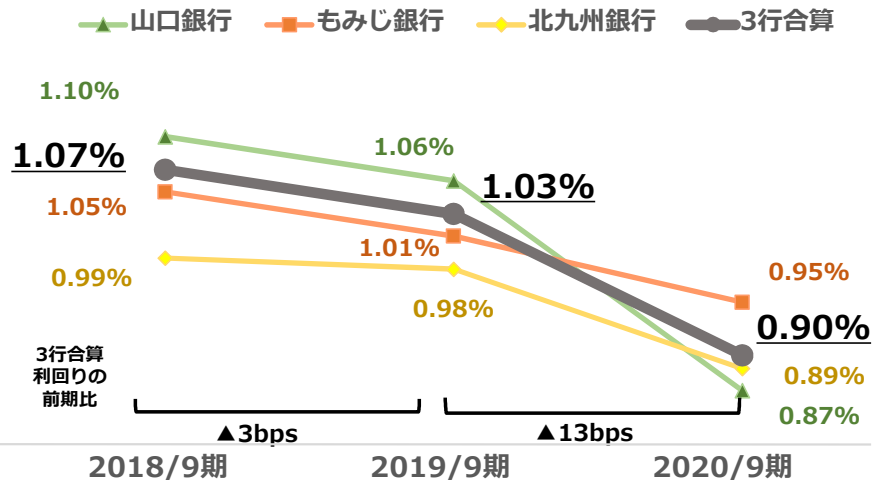
(単位:億円)



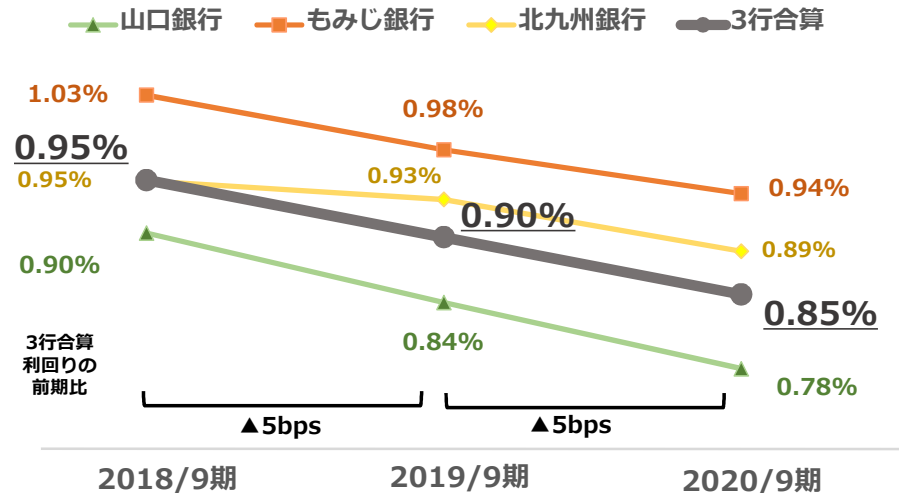
3) 貸出金利回り／利息

- » 貸出金利回りは、外貨貸出金の金利低下により大幅に低下
- » 3行合算の貸出金残高は堅調に増加しているが、利回りの低下をカバーできず貸出金利息は減少

貸出金利回り

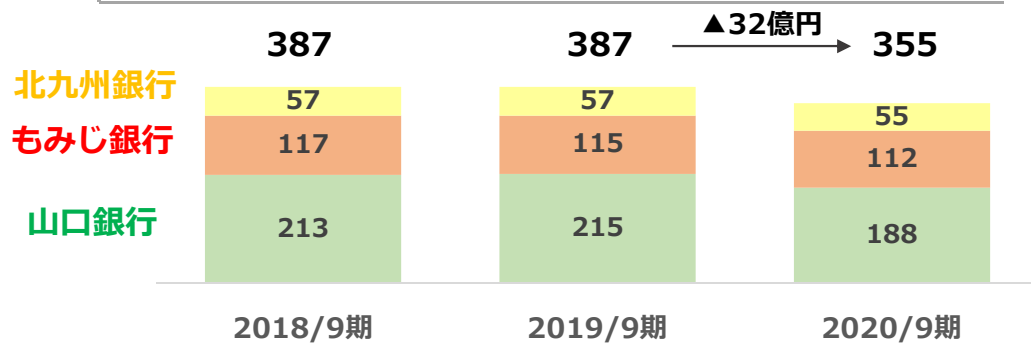


邦貨貸出金利回り



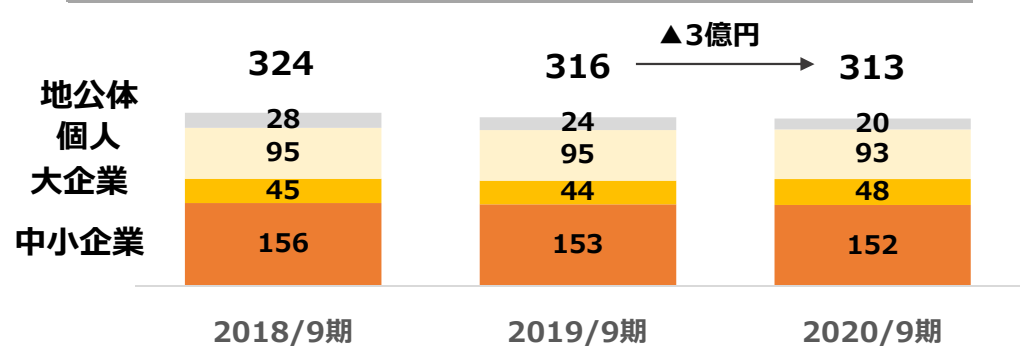
貸出金利息(銀行別)

(単位:億円)



邦貨貸出金利息(事業体別)

(単位:億円)

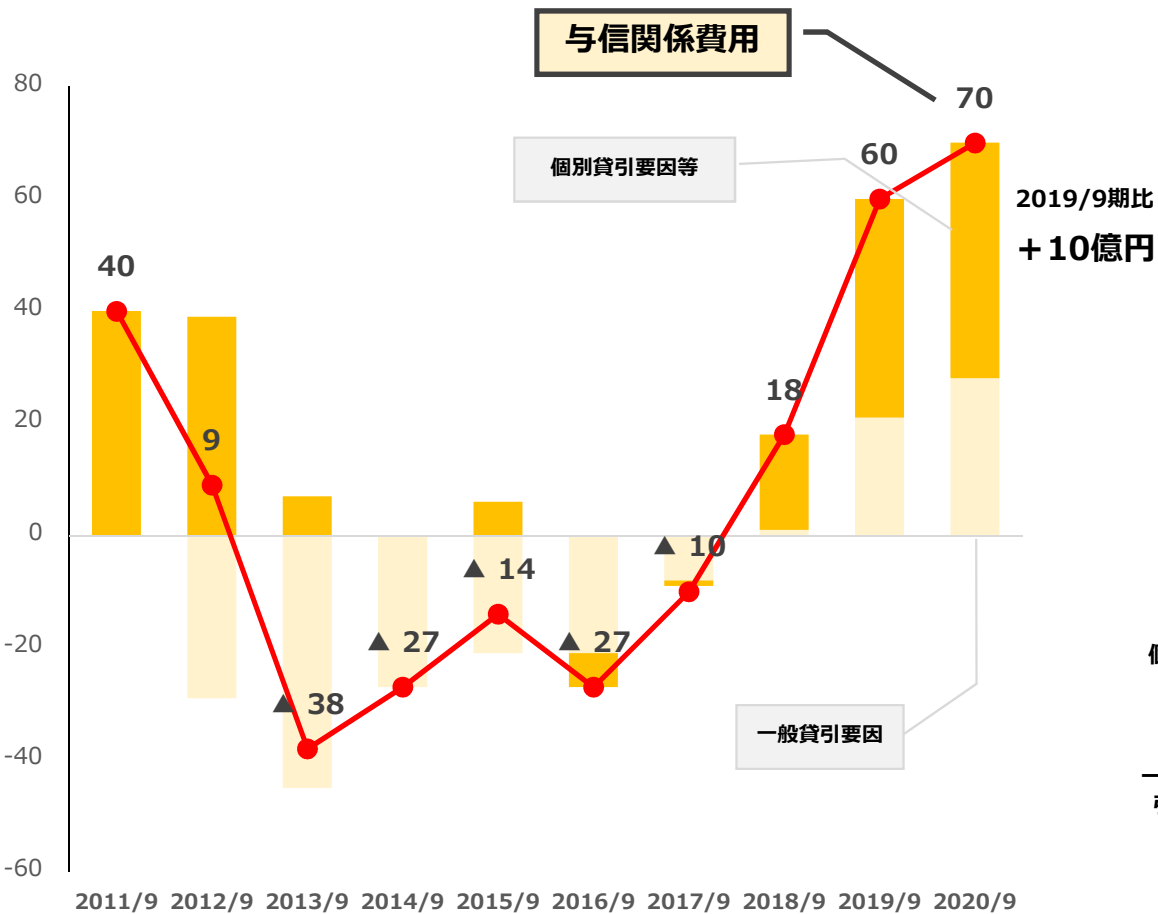


4) 与信費用／不良債権

- » 与信関係費用(3行合算)は、もみじ銀行と北九州銀行の費用が増加したことを受け、前期比+10億円
- » 金融再生法開示債権残高は2020/3期と同水準を維持

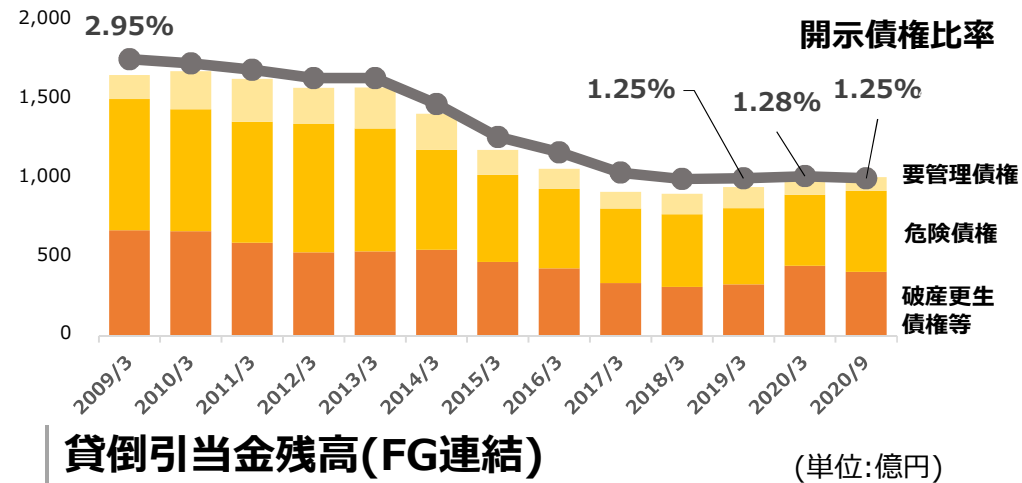
与信関係費用(3行合算)

(単位:億円)



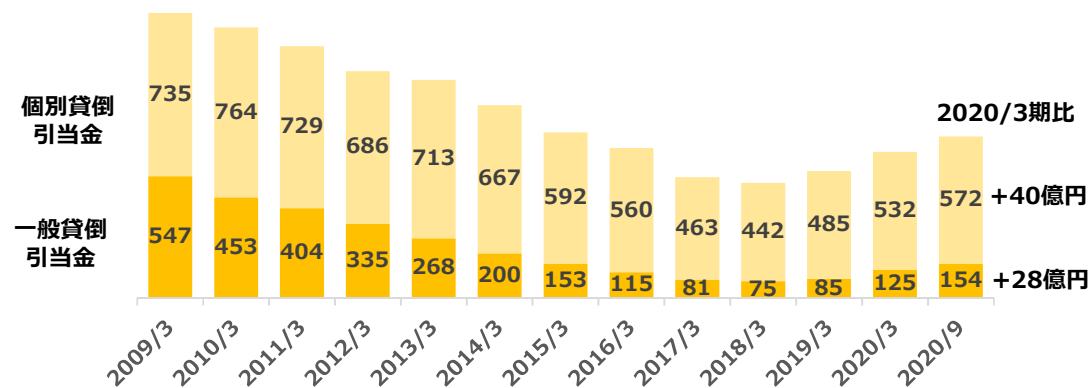
金融再生法開示債権残高(3行合算)

(単位:億円)



貸倒引当金残高(FG連結)

(単位:億円)

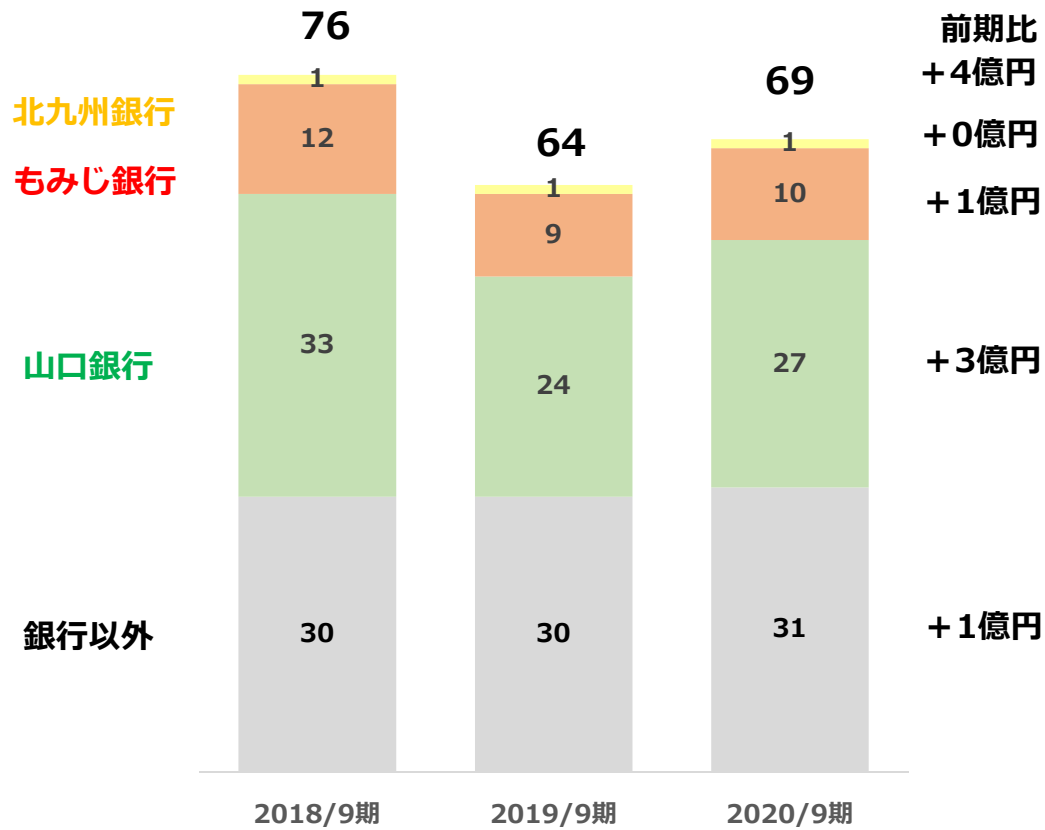


5) 役務関連収益

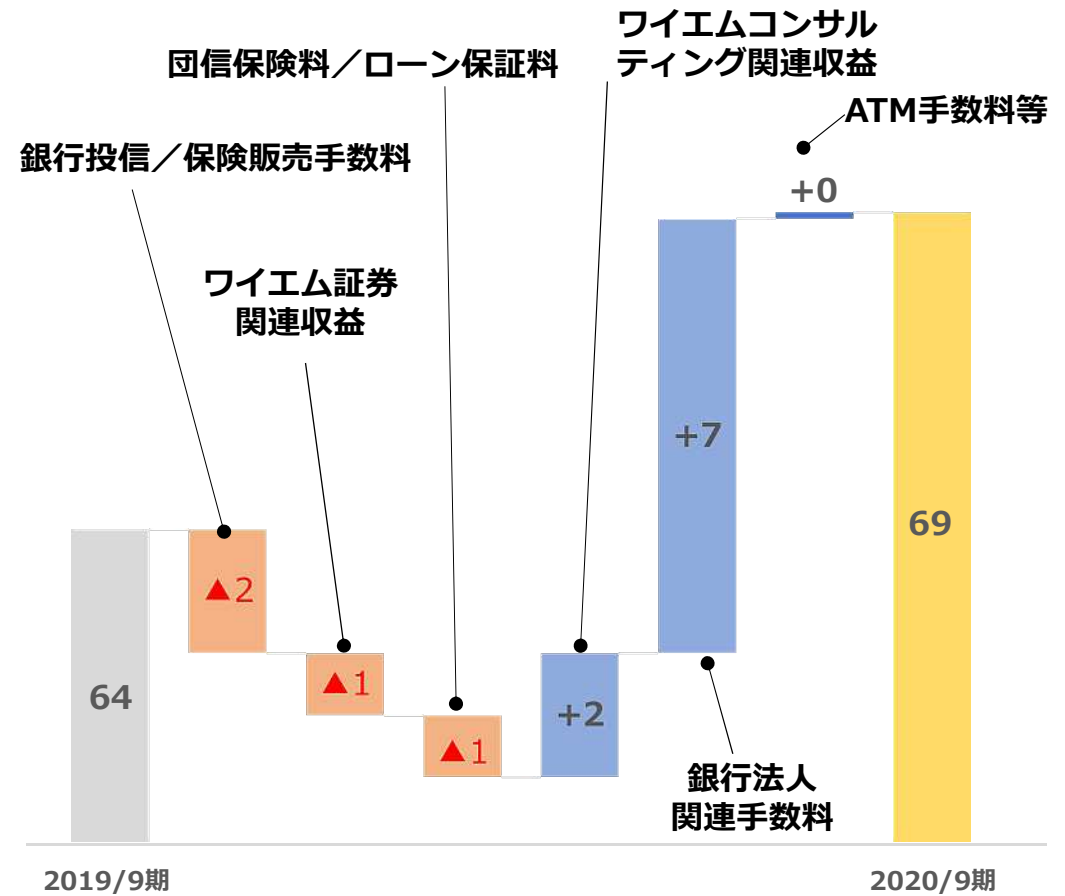
» 銀行法人関係手数料の増加を主因に、連結役務取引等利益は前期比+4億円

役務取引等利益(FG連結)

(単位:億円)



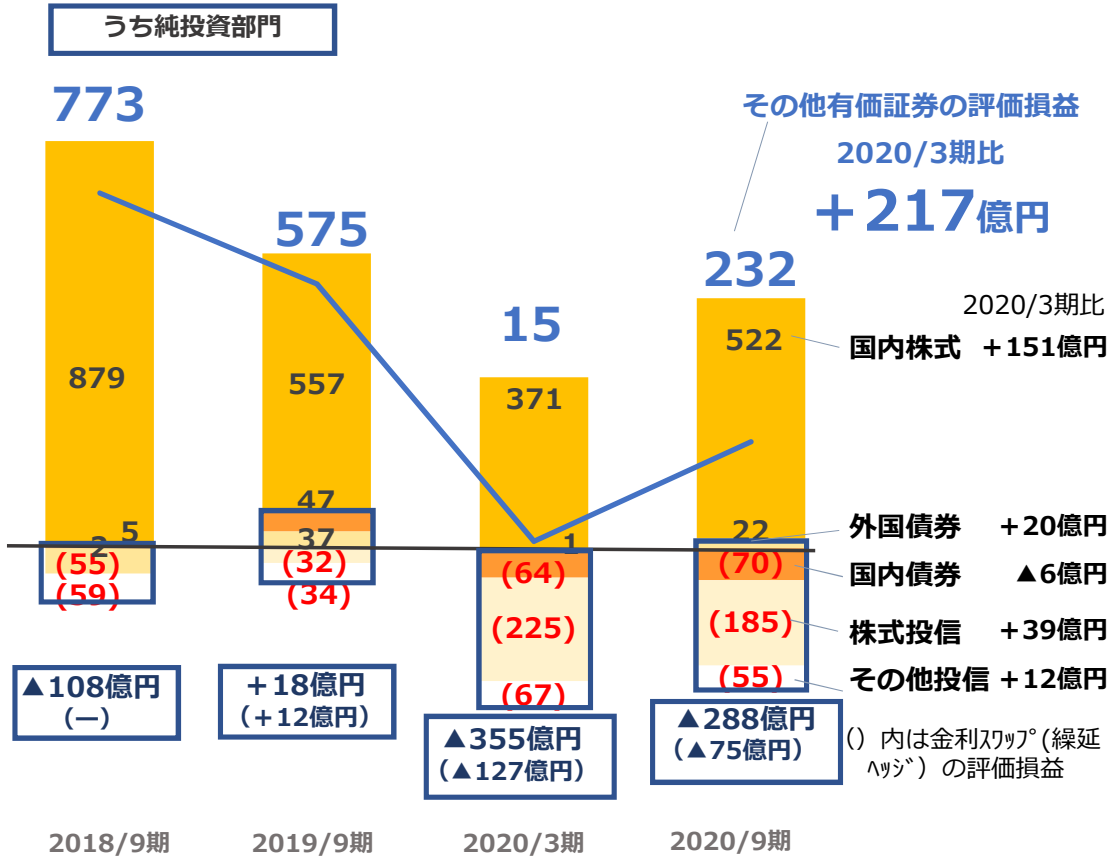
変動要因の主な内訳



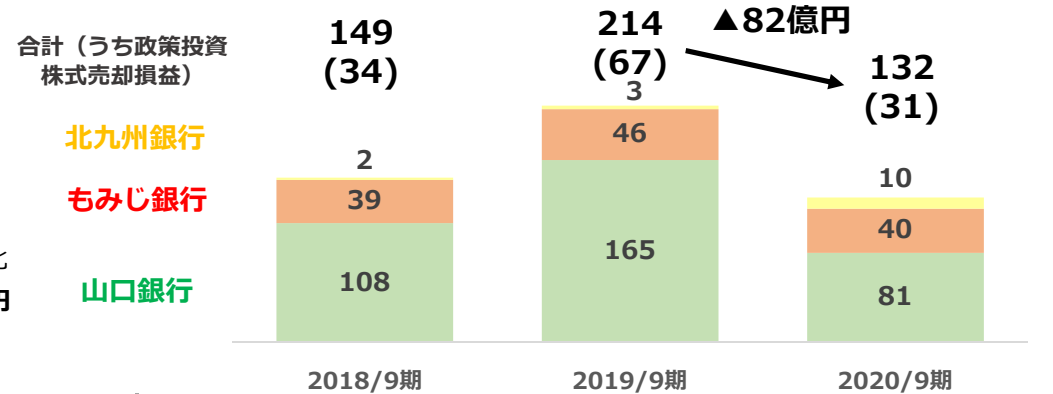
6) 有価証券

» 2020/9期は評価損益の改善に注力、株価の上昇もあり、その他有価証券の評価損益は2020/3期比+217億円の改善

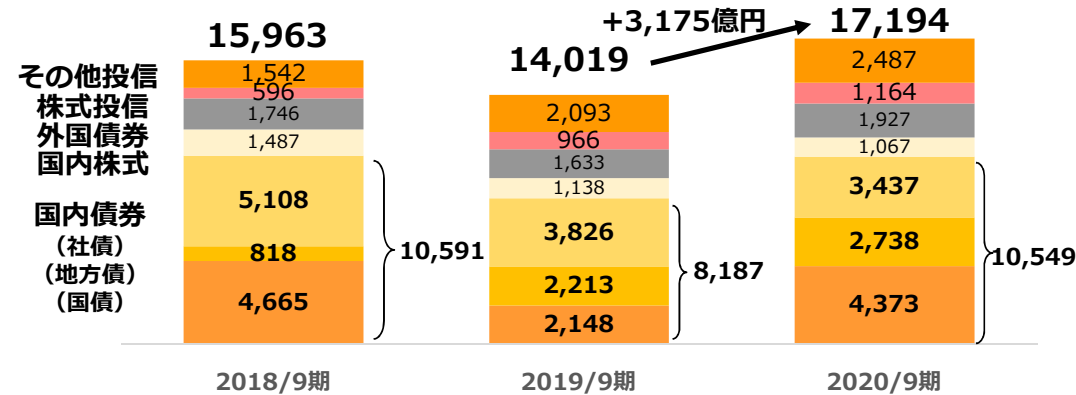
その他有価証券の評価損益(3行合算) (単位:億円)



有価証券関連収益(3行合算) (単位:億円)



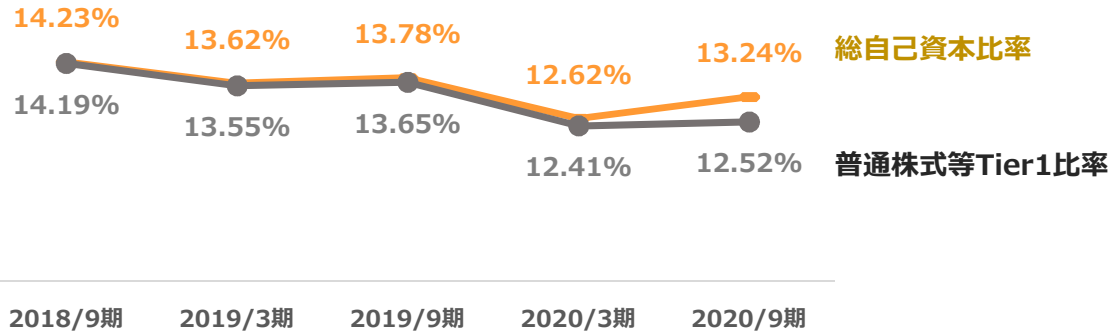
有価証券時価残高(3行合算) (単位:億円)



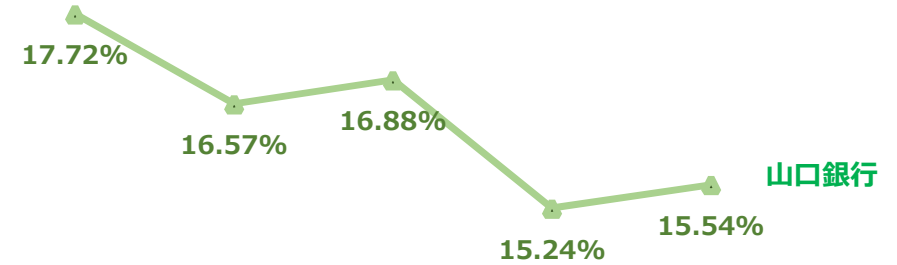
7) 自己資本比率(連結・銀行単体)

» 劣後債発行を主因とし、連結総自己資本比率は2020/3期比+0.62%の13.24%

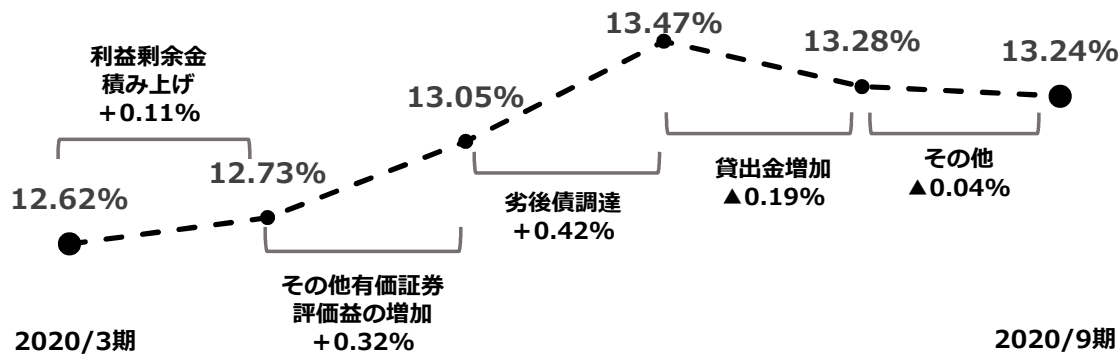
山口フィナンシャルグループ°連結



グループ内銀行の自己資本比率



◆ 主な変動要因 (FG連結総自己資本比率)



2018/9期 2019/3期 2019/9期 2020/3期 2020/9期

※山口銀行は国際統一基準により、もみじ銀行および北九州銀行は国内基準によりそれぞれ算出

8) 2020年度通期業績予想（連結）

» 期初計画から経常利益350億円、当期純利益230億円は変更しない

(億円)	2020年 中間期 (実績)	進捗率	2020年 下期 (見込)	2020年 通期 (見込)	前期比
コア業務粗利益	511	53%	449	960	▲ 26
資金利益	434	53%	384	818	▲ 63
うち預貸金利益	339	50%	334	673	▲ 35
うち有価証券利息配当金	117	64%	64	181	▲ 33
役務取引等利益	69	44%	87	156	+18
経費（△）（臨時処理分除く）	336	49%	338	674	▲ 20
コア業務純益	174	61%	111	285	▲ 6
経常利益	129	36%	221	350	▲ 16
(親会社株主に帰属する)当期純利益	84	36%	146	230	▲ 23
与信関係費用（△）	72	76%	22	94	▲ 27
経費（△）（臨時処理分含む）	337	52%	311	648	▲ 44
有価証券関連収益	136	53%	116	252	▲ 119

2020年度通期業績予想 経常利益増減要因(連結)

(単位:億円)

